

なるほど!  
ザ・ファンド

Q & A

Vol.150

Q.

相関係数って何？

A.

資産・ファンドなどの値動きの連動性を表す指標で、1から-1までの範囲で表されます。

株や債券などの各資産は景気局面によって値動きに違いがあります。

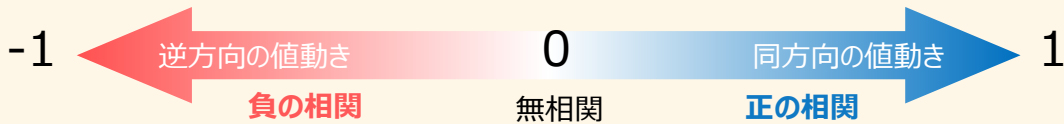
例えば、景気拡大局面には株価は上昇しますが、債券はインフレ抑制のため利上げが行われ価格が下落します。

一方、景気後退局面では株価は下落しますが、債券は景気刺激のため利下げが行われ価格が上昇します。

2つの資産の値動きの連動性を表す指標を相関係数といい、1から-1までの範囲で表されます。相関係数が1に近づくほど同じ値動きをする傾向が強く、-1に近づくほど逆方向の値動きをする傾向が強くなります。また、0に近づくほど、値動きには連動性がなくなります。

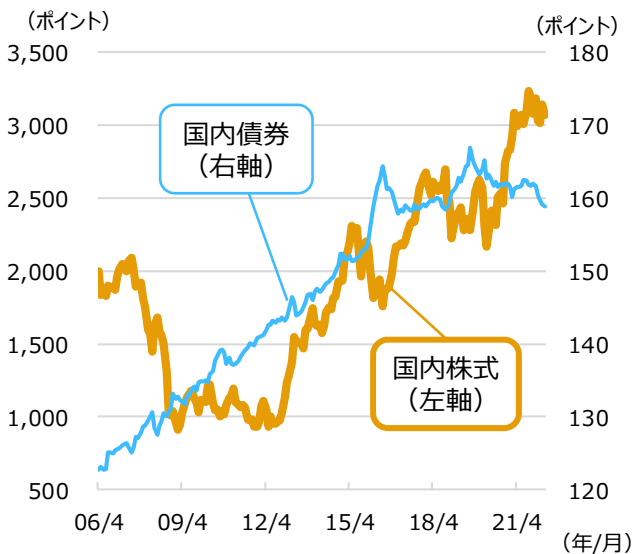
国内株式と国内債券の相関係数は-0.3のため、逆方向の値動き（＝負の相関）といえます。（次頁ご参照）

＜相関係数が表す値動きのイメージ＞

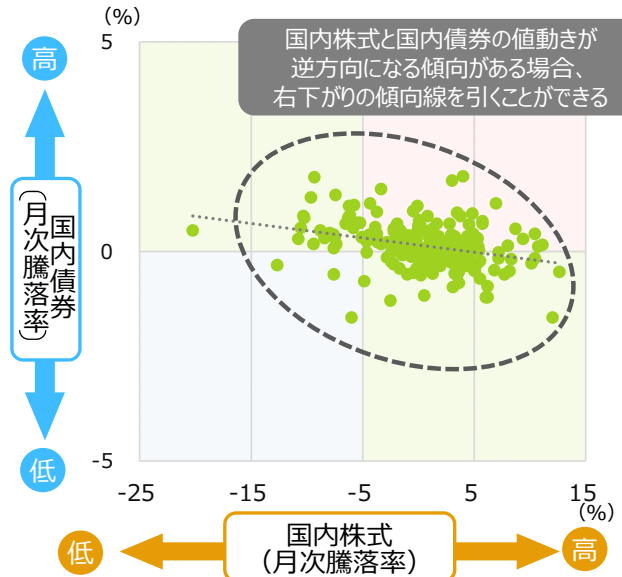


（例）株式と債券の価格推移と相関

＜国内株式と国内債券の推移＞



＜国内株式と国内債券の相関＞



（注1）データは2006年4月末～2022年4月末、月次。

（注2）国内株式はTOPIX（配当込み）、国内債券はICE BofA 日本ブロードマーケットインデックス。

（出所）Bloomberg、ICE Data Indicies, LLCのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、今後の投資成果および市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

下表は各資産の相関係数を一覧にしたものです。

前頁でみた通り、国内株式と国内債券の相関係数は-0.3となっています。一方、国内株式と海外株式の相関係数は0.8と1に近いので、同方向の値動き（正の相関）であることがわかります。

このように各資産の相関係数をみることで、併せ持つ資産の組み合わせを判断することができます。

### 各資産の相関係数

	国内株式	海外株式	国内債券	海外債券	世界REIT	コモディティ
国内株式	1.0					
海外株式	0.8	1.0				
国内債券	-0.3	-0.3	1.0			
海外債券	0.6	0.7	-0.0	1.0		
世界REIT	0.7	0.9	-0.1	0.6	1.0	
コモディティ	0.5	0.6	-0.3	0.4	0.5	1.0

(注1) データは2006年4月末～2022年4月末の月次騰落率を基に算出。

(注2) 国内株式はTOPIX（配当込み）、海外株式はMSCIワールド（円ベース）、国内債券はICE BofA 日本ブロードマーケットインデックス、海外債券はJPモルガンGBIグローバル（米ドルベースを円換算）、世界REITはS&P REIT（円ベース）、コモディティはS&P GSCI超過リターン指数（円換算ベース）。

(出所) Bloomberg、Fact Set、ICE Data Indices, LLCのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、今後の投資成果および市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

#### 【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。